

科目群	科目区分等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
共通基礎	2単位 教養科目	新島襄ーその時代と生涯ー	山下 智子	1年次	春

授業のキーワード	良心・自治自立・『八重の桜』
授業の概要	新島襄がどのような時代に生き、どのような生き方をし、どのような思想や信仰を持っていたのかを学びます。また2013年大河ドラマ『八重の桜』の主人公であった襄の妻・八重についても学びます。
期待される学習成果（目標）	新島襄の人生と思想をキリスト教入門で学んだ内容よりもさらに深く学びます。とやことを通して、現代に生きるわたしたちが生きるヒントを見出します。「新島襄のゆかりの地を学ぶ旅」は一般の学生にもオープンにします。旅を有意義なものにするため主体的にパンフレットづくりなどに参加してください。

授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	オリエンテーション	この講義の目的と授業の進め方について説明します。	第9講	日本への帰国	新島襄はどんな夢をもって日本に帰ってきたのか、群馬の地こどのようにキリスト教をつたえたのかを学びます。
第2講	新島襄の誕生から脱国まで	新島襄は渡米以前どのような日々を過ごしたのかを学びます。	第10講	京都で同志社を開校	同志社を設立するのにどんな苦労があったのか、山本覚馬と八重との出会いについて学びます。
第3講	新島八重の誕生と戊辰戦争	八重は新島襄との出会い以前どのような日々を過ごしたのかを学びます。	第11講	教育者として	新島襄の教育方針はどんなものであったのか、「自責の杖」事件などについて学びます。
第4講	アメリカへの航海とボストン上陸	新島襄はどのようにして渡米し教育の機会を得たのかを学びます。	第12講	晩年の新島襄	新島襄はどのようにして亡くなったのかを学びます。
第5講	新島襄と群馬① パンフレット作り	新島襄にゆかりのある群馬の地について調べ、見学のパンフレットを作ります	第13講	その後の八重	襄を亡くした後の八重の歩みについて学びます。
第6講	新島襄と群馬② 新島襄ゆかりの地を学ぶ旅	新島襄にゆかりのある群馬の地を実際に見学します	第14講	まとめ	全体のまとめと振り返りをします。
第7講	アメリカでの留学生活	新島襄はアメリカでどんな教育を受けたのか、フィリップス・アカデミー、アーモスト大学、アンドヴァー神学校での日々について学びます。	第15講	期末試験	
第8講	キリスト教との出会い	新島襄はどのようにしてキリスト教徒になったのかを学びます。	定期試験		
評価方法	課題（ミニテスト、期末レポートなど）70% 安中ツアーへの参加・貢献度 15% 授業貢献度（授業態度、出席状況など）15%				
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
同志社大学編「新島襄検定100問」コトコト 2008年 山下智子「新島八重ものがたり」日本キリスト教出版局、2012年			学校法人同志社編「現代語で読む新島襄」丸善 2000年 本井康博「新島襄と建学精神」思文閣出版 2005年 本井康博「新島襄を語る（1）～（9）、別巻（1）（2）」思文閣出版 2005～2012年		